

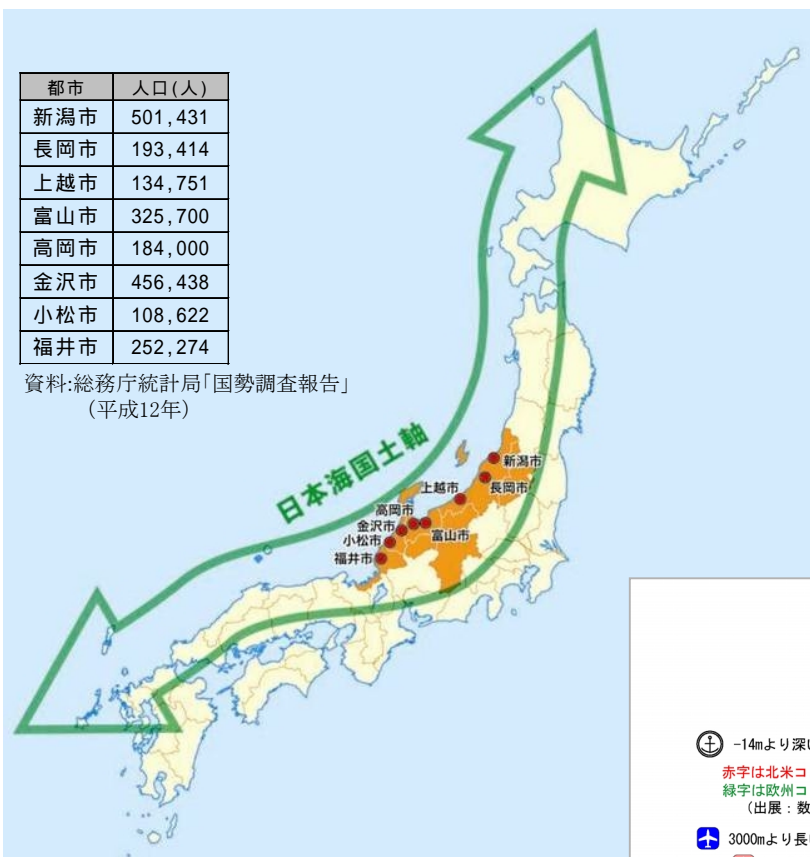
2. 日本列島の扇の要に位置する環日本海交流の玄関

北陸地方は、日本海国土軸の中央に位置しており、県庁所在都市や10万人以上の都市が近接・連坦し、三大都市圏のそれぞれに近く、また北東アジア諸国と日本海をはさんで対面する位置にあるなどの地理的優位性を有している。地域間の連携や国際交流を基軸に地域づくりを進めようという潮流の中、これらを活かして、「環日本海国際交流」並びに「日本海国土軸」の中核圏域として発展が期待されており、より一層の基盤整備・機能強化を進めることが求められている。

●日本海国土軸を担う都市の連なり

北陸地方は新潟市から福井市まで、人口10万人以上の8つの都市が連なっている。

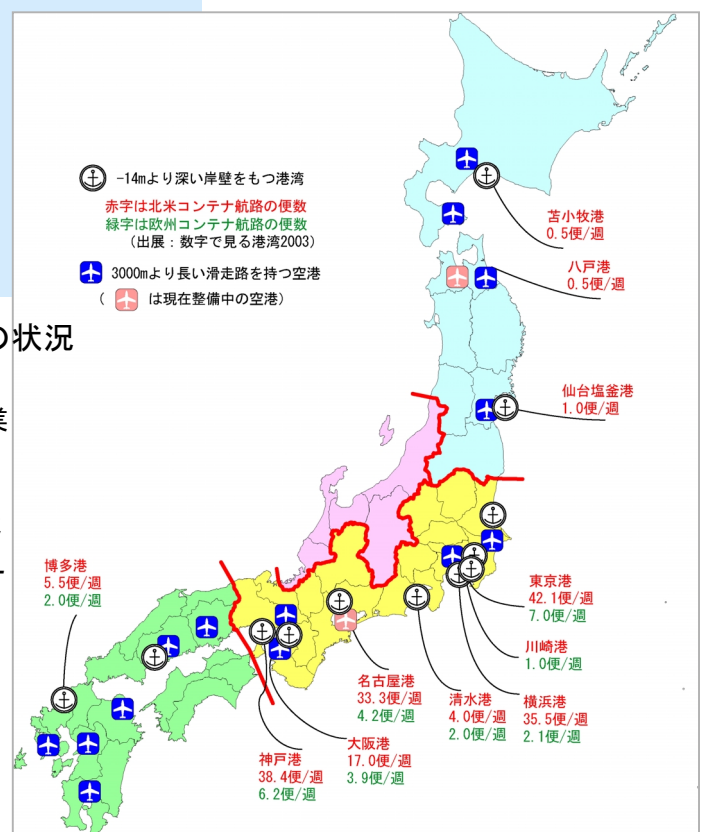
この都市の連なりによる都市機能の集積は日本海沿岸の他地域にはないもので、日本海国土軸の中核圏域を形成している。



●欧米へ直接アクセスできる港湾・空港整備の状況

北陸地方には、北米、欧州へ積み替え、乗り換えをせずに行ける港湾や空港がなく、北陸の産業の国際競争力を欠く原因の一つとなっている。

また、欧米へのアクセスが太平洋側に片寄っているため、地震等による被害を受けた場合、日本全体として欧米へのアクセスに多大な支障を与える。



●三大都市圏すべてに近接する立地

北陸地方は日本列島のほぼ中央に位置し、三大都市圏に近接するという地理的優位性を持っている。



●北陸地方は三大都市圏と活発な交流を展開している(北陸各県への観光客のエリア別比率)

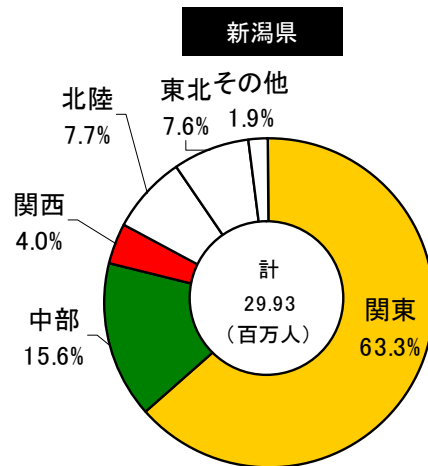
北陸各県には全国から観光客が訪れているが、特に隣接する三大都市圏からの来訪者の比率が高く、地の利を活かした観光交流活動を展開している。



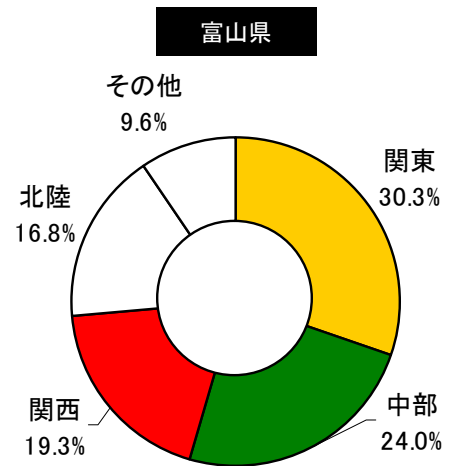
能登空港(石川県)



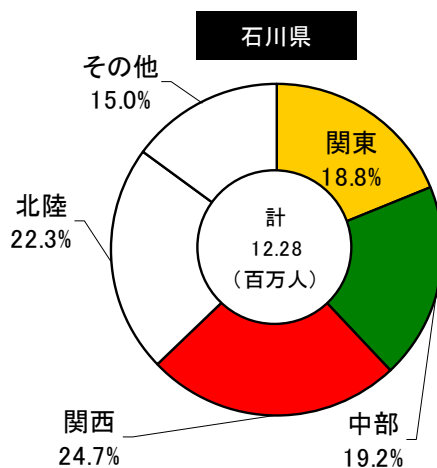
湯沢町(新潟県)



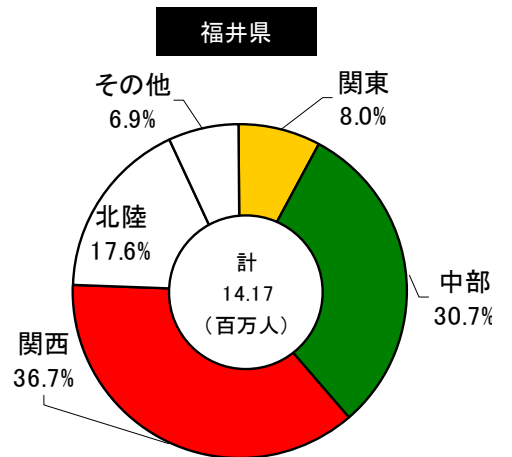
出典:新潟県観光動態の概要(平成14年)



出典:富山県観光客動態調査(平成13年)
※1,086人を対象としたアンケート調査



出典:統計から見た石川県の観光(平成14年)



出典:福井県観光客数動態統計表(平成14年)

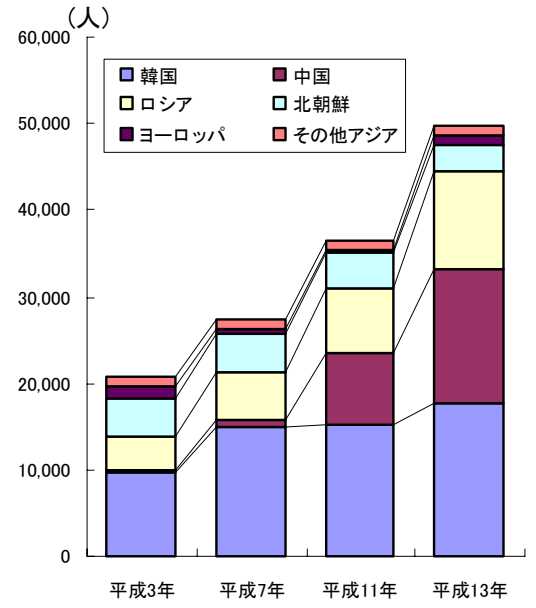
●北東アジアと対面し、関係の深い北陸

北陸地方は日本海をはさんで北東アジア諸国と対面する位置にある。今後中国をはじめ北東アジア諸国との交流の拡大が予想される中で、地理的優位性を持つといえる。



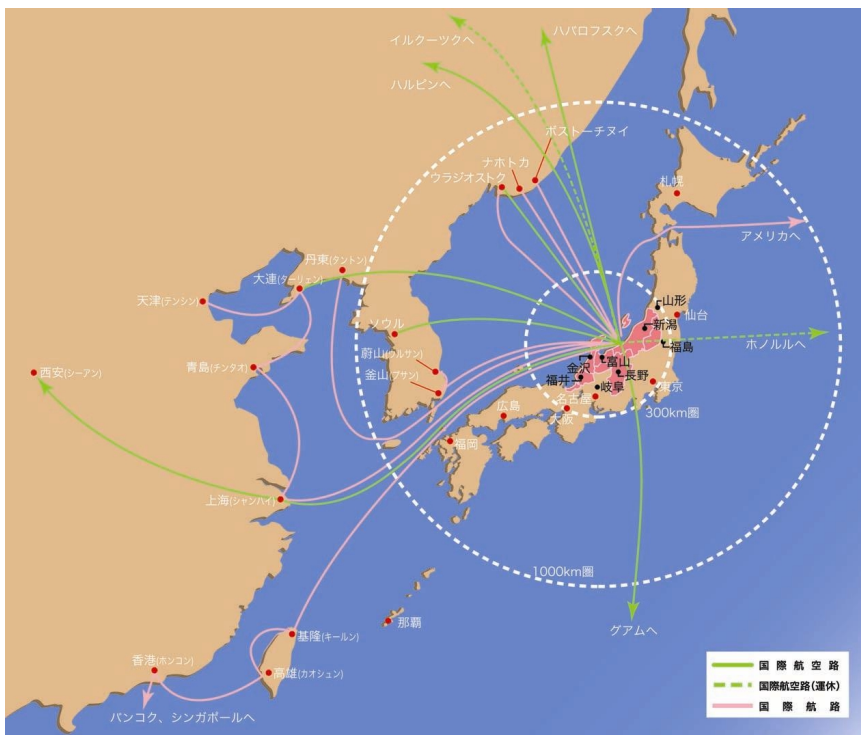
<北陸地方への入国外国人数の推移>

北陸地方への入国外国人は北東アジアからの来訪者が多く、特に1990年代後半から中国人入国者が急増している。



●北東アジアを中心に広がる世界へのネットワーク

北陸地方から北東アジア諸国の拠点都市に、国際旅客便やコンテナ航路等の定期航路が確立されており、日本におけるゲートウェイ(玄関口)としての役割を發揮している。



<北陸地方の空港からの国際旅客便>

空路名	頻度
ハバロフスク	週 2 便
ウラジオストク	週 4 便
ソウル	週 9 便
上海 / 西安	週 2 便
大 連	週 3 便
ハルビン	週 4 便
グアム	週 2 便
ホノルル	運休中
イルクーツク	運休中

資料: 北陸地方整備局、新潟空港、富山空港、小松空港ホームページより (平成15年11月現在)

<北陸地方の港からの国際定期コンテナ航路>

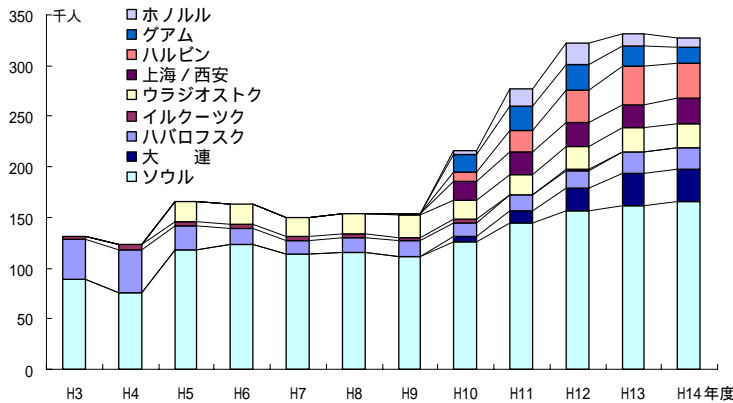
航路名	頻度
韓国 (釜山)	週 17 便
中国 (大連など)	週 7 便
東南アジア	週 3 便
ロシア (モスクワなど)	月 1 便

資料: 北陸地方整備局

●北東アジアをはじめとする世界との交流の拡大

北東アジア諸国をはじめ世界各国との着実な交流の拡大によって、北陸地方の各空港における国際線乗降人員や各港湾の国際コンテナの取扱量は増加を続けている。

＜目的地別乗降人員の推移＞

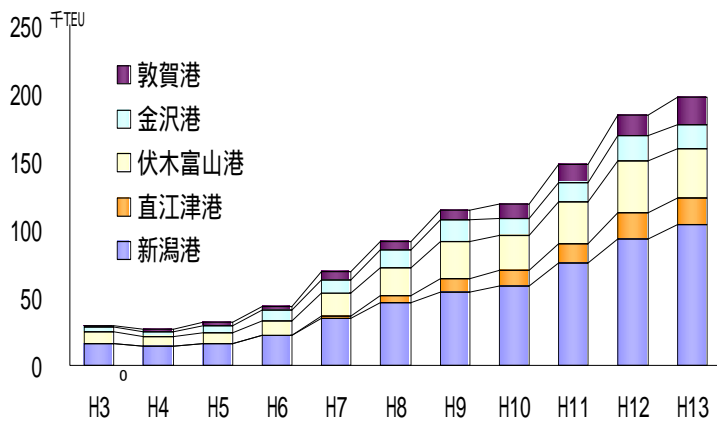


資料:新潟県港湾空港局空港課
富山県土木部空港対策室
石川県企画開発部空港企画課



新潟空港

＜港湾別国際(外貨)コンテナ取扱量の推移(輸出入計)＞



資料:北陸地方整備局



新潟港東港地区

●国際航空貨物ネットワークの拠点空港化による取扱量の増加(小松空港)

ルクセンブルグを拠点とするカーゴルックス航空は、日本及びアジア地域の貨物輸送の拠点として、それまでの福岡空港から三大都市圏へのアクセス性が高い小松空港を選択。これにより、小松空港は国際物流ネットワークの形成・展開の一翼を担っている。

1994年の小松～ルクセンブルグ国際貨物定期便就航以来、小松空港の国際航空貨物取扱量は急激に増加している。

＜小松空港が選ばれた理由＞

①地の利

東京・名古屋・大阪の三大消費地に、直線で300～350km圏内

②北陸自動車道に近接

空港からすぐの北陸自動車道の利用で、スムーズな集配が可能

③低コスト

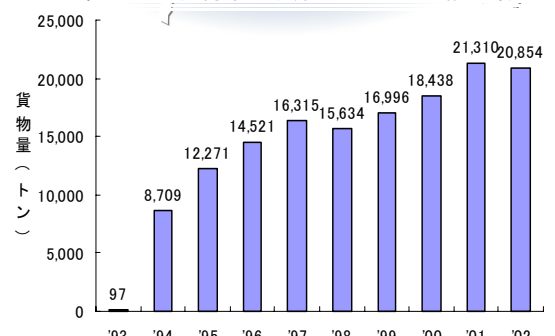
空港利用に余裕、その上安い利用料



■カーゴルックス航空ルクセンブルグ—小松間 貨物便の航路



■小松空港の国際航空貨物取扱量は大幅に増加



資料:国土交通省空港管理状況調査